

檜原村では、これまで利用されていなかった間伐材や林地残材などを木質バイオマス燃料として利用するため、村内に薪の製造施設を設置し、そこで製造した薪（燃料）を公衆浴場に設置した薪ボイラーで燃料として利用しています。

木質バイオマス燃料を活用することにより、化石燃料の使用を抑制することができ、二酸化炭素の排出削減に繋がっています。

| | |
|----------------|-------------|
| プロジェクトの実施場所 | 東京都西多摩郡檜原村 |
| 削減量(予測) | 年間 133t-CO2 |
| 在庫量 | — |
| クレジットの次回発行予定 | 平成25年4月(予定) |
| 1t-CO2あたりの希望単価 | 未定 |

薪ボイラーの使用により削減した二酸化炭素の排出量をクレジットとして都市部の企業や自治体に提供することで、村の地球温暖化防止対策の取り組みを都市へと発進していきます。

また、都市部の企業や自治体で実施するイベントや会議に係るCO2排出量をオフセットしてもらうことで、二酸化炭素排出量の抑制意識や企業でのCSR、イメージアップの向上に役立てられると考えています。



■連絡先 檜原村産業環境課 担当 藤原
TEL042-598-1011 FAX042-598-1009
E-mail kanky@vill.hinohara.tokyo.jp